



近鉄寺田駅往復の路線バスに体験試乗する寺田南小3年生

# 路線バスの便利さ知って

## 車両見学、体験試乗も

### 寺田南小学校MMに興味津々 3年生

城陽市

地元を走る路線バスの便利さを知って。城陽市立寺田南小学校（北村章子校長）3年生58人を対象に19日、学校MM（モビリティ・マネジメント）学習が行われ、車両内を装置に触れたり、実際に体験乗車するなど児童らがバスの乗り方をマスターした。

マイカーの普及により、児童らが家族に買い物やレジャーに出掛ける場合、なかなか路線バスに乗って…というケースは少ない。「どうやって乗るの」「降りる時は…」そんな疑問が絶えない中、寺田南小には、実際に路線バスが来校。乗る際に取る「整理券」や

降りる前に押す「降車ボタン」、また不審者が車内に侵入してきた時などに押す「非常用ボタン」など、興味を引き付けた。

本来なら2年生生活科の授業で地域を走る公共交通について学習するが、コロナ禍で実現せず、3年生社会科の



車両の内部を見学し、乗り方・降り方を学ぶ児童たち

学習の一環として、学校MM学習は行われた。

まず、体育館内で市都市政策課の友本浩嗣課長補佐が市内を走る「城陽さんさんバス」

2路線のルートについてスライドを使って説明。そのあと、2クラスに分かれて「寺田南小学校前バス停から近鉄寺田駅」を往復するコー

スで、路線バスに体験試乗したり、校内に駐車したバス内を見学した。

児童らは、乗客の安全を考えた装備やマイカーより路線バスで移

動した方がCO2の排出抑制につながり環境に優しいことを学習。体験した児童のうち、松本悠慎くん（8）は「おばあちゃんの家に行く時くらいしかバスに乗らなかつたけど、これからもっとバスに乗りたい」と話していた。

北村校長は「今年度、できれば2年生にもバスについて体験学習させたい」と希望し、学校MM学習に意欲を示していた。

なお、都市整備部と小学校、京都京阪バス（株）がタイアップしたこの学習は、コロナの影響もあり、2018年12月の寺田西小以来5年半ぶりとなる。

無料体験  
いつでもOK！  
TEL 074-4555111